

# 感染症情報 6月12日～18日

府下小児科191医療機関(堺市19)から

①ヘルパンギーナ	1,251例(堺市 149例)
②感染性胃腸炎	839例(堺市 75例)
③RSウイルス感染症	516例(堺市 67例)
④溶連菌感染症	514例(堺市 55例)
⑤咽頭結膜熱	168例(堺市 11例)

府下291医療機関(堺市29)から

**インフルエンザ 190例(堺市 18例)**

前週比6.3%増の3,511件の報告数であった。ヘルパンギーナが府下で40%増、堺市で131例→149例であった。定点あたりは府下が4.66→6.55で、堺市は6.89→7.84。大阪府も2014年以来、警報レベル基準値6を超えた。感染性胃腸炎が府下で前週比7%減、堺市で前週82例→今回75例であった。RSウイルス感染症が府下で17%減、堺市で77例→67例であった。定点あたり大阪府が3.25→2.70、堺市が4.05→3.53。溶連菌感染症が府下が1%減、堺市で前週58例→今回55例。咽頭結膜熱が府下で1%減、堺市で前回14例→今回11例であった。

インフルエンザが府下で前週202例→190例で6%減、堺市で前週22例→今回18例であった。定点あたり大阪府は0.70→0.65、堺市で0.76→0.62であった。

府下291医療機関(堺市29)から

**新型コロナウイルス感染症 1,324例(堺市 179例)**  
**大阪府定点 4.55 堺市定点 6.19**

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
42	88	96	295	124	122	134	157	96	91	79	1324

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前週1,256例→今回1,324例で5%増、定点あたり4.33→4.55に、堺市は前週152例→今回179例で18%増、定点あたり5.24→6.19であった。5類感染症に移行後、5週連続で増加している。

麻疹や風疹の報告はなかった。